

ひらつか

直径約15㍉に焼き上げた丸いパンを半円形にカットし、ジューシーな空揚げを挟み込んだ鳥仲商店のピタサンド「ピタココ」。お店のお薦め商品をPRする「湘南ひらつか逸品プロジェクト」の一つです。

市内外の幅広い業種が販売している「逸品」を手にしてみませんか。



自慢の逸品

目次	1～3面… 特集 お店の元気はまちの元気…お薦め商品をPRする逸品研究会と、商業活性化施策を紹介します。	ひらつか 議会だより	平塚市の人口と世帯数 <平成25年1月1日現在()内は前月比>	◎発行／平塚市 ◎編集／広報・情報政策課 〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 tel 0463-23-1111 fax 0463-23-9467 http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/
	4～7面…募集・お知らせ・健康と福祉		人 口 259,179人…(+19)	
	8面…ヒラツカルチャー「今、会いたい作品」		世帯数 105,393世帯…(+8)	

お店の元気はまちの元気

平塚の商業を元気にしようと、熱意を持って取り組む人たちがいます。今回は、お店の魅力を高めて、まちにぎわいを呼ぼうと活動する平塚逸品研究会と、市の商業活性化施策をご紹介します。

逸品を生み出せ

「商品に魅力がなければ、お客さんはお店に来てくれない。全ては商品ありきです」熱を込めて語る、平塚逸品研究会会長の水嶋祥貴さん（左写真）。各店の一押し商品35品を「逸品」として紹介する「湘南ひらつか逸品プロジェクト」を展開しています。平塚商工会議所が主導して進めるこのプロジェクトを、市も支援しています。

この研究会は、平成21年に商工会議所が開いた一店逸品

率直に話し合う

「一店逸品運動に参加しているのは、神奈川県内では平塚市だけ。元気で明るく人懐っこい皆さんが、熱心に取り組んでいますよ」と話す、一店逸

楽しい専門店に

品運動協会理事長の太田巳津彦さん。全国で一店逸品運動を推進する太田さんは、この研究会の講師を務めています。「平塚の研究会は若手の商業者が多く、業種も幅広いですね」と、特徴を述べます。逸品には、新メニューなどを作る「開発型」と、既存の商品を紹介する「発掘型」とがあります。水嶋さんは「開発型に限定してしまうと、小売業は参加できません。発掘型の逸品があるので、幅広い業種が参加できるんですよ」と話します。「研究会のメンバーは『味付けや温度を変えた方が良い』『いい物だが高い』など、厳しいアドバイスも率直に伝えます。業種・年代・性別が違うので、いろいろな角度の意見が聞け勉強になります」とメリットを語ります。

この研究会に参加している店のほとんどは専門店です。明石町にある東曜印房のはんこ職人でもある水嶋さんは、専門店の持つ「敷居の高いイメージ」を払拭したいと考えています。「専門店が気軽に入りにく



活発に意見を交わす逸品研究会

い、というイメージがあるかもしれません。でも、職人の生の声が聞けたり、こんなお店があったのかという発見をしたりと、来ていただければきっと楽しい体験ができるはずですよ」と胸を張る水嶋さん。自分たちの作った研究会のカタログが、店を訪れるきっかけになってくれればと期待を寄せています。水嶋さんは「逸品を効果的に見せるために、店自体を魅力的に変えていく勉強もしています」と語ります。「お店が魅力的になっていきわえば、店の前の通りがにぎわい、商店街がにぎわい、まちがにぎわう。最終的には平塚を盛り上げていきたい、という思いが根底にありますね」。研究会への参加や見学は、平塚商工会議所商業支援課 ☎22-2511へ。

名物空揚げ ぎっしり挟む 満腹ピタサンド

鳥仲商店 黒部丘2-3 ☎31-0349

逸品効果で 売り上げアップ

「平塚を盛り上げたい」という思いで平塚逸品研究会に参加したという、鳥仲商店の専務・鈴木崇さん。「研究会は、やる気のある熱いメンバーが多く、商品について本音で議論できる貴重な場になっています」と話します。

鈴木さんは、研究会が始まったときから参加しているメンバーの一人です。「逸品としてご紹介した商品は、お客さんにとっても好評ですよ」と、効果を語ります。同店の昨年の逸品は、鶏肉の塩ロール。今まで売り上げが少なかった冬場にも、よく売れるようになったと言います。

今年の逸品に選んだのは、主力商品の「湘南こっこからあげ」をピタパンに挟んだ「ピタコッコ(表紙)」です。この空揚げは、昨年10月に厚木市で行われた「かながわフードバトル」で特別賞を受賞した自慢のメニューです。同店で



逸品の店 PICK UP



「湘南こっこからあげ」を揚げる鈴木崇さん(右写真)。厚木市のフードバトルでは、2日間で600個・6,000人分が完売。パン担当の平井潤さん(下写真)が焼く、飽きのこない素朴な味のピタパンを使ったピタコッコは300円。

具もパンも 全てが手作り

1日に調理する空揚げの量は100個・約1000人分。市内外のイベントや百貨店、高速道路のサービスエリアなどで出張販売することもあり、いつも好評を博しています。

「3代にわたり受け継ぐ、秘伝の漬けだれを使っているんですよ」と、空揚げの味の決め手を語る鈴木さん。下味を付けた肉を、鶏の油(チーユ)を使って低温でじっくり揚げ、ふっくらジューシーに仕上げます。冷めても柔らか

い点も持ち味です。使用するピタパンもお店で作っています。アレルギーに配慮して、生地に卵は使っていません。一番のポイントは柔らかな食感で、ふっくらと厚みを持たせています。ピタコッコは直径約15センチのピタパンに、空揚げをたっぷり100g・3〜4個分詰めています。ふわっとしたパンと肉の食感がマッチするよう、空揚げを小さくカットするなど工夫しています。

レタスとマヨネーズと甘辛だれの絡んだピタコッコを、口いっぱい頬張ってみては。



逸品研究会の店はピンクののぼりが目印

魚と黒酢と たっぷり野菜の おいしい出会い

旬菜屋NoBu
龍城ヶ丘8-40-103 ☎35-2007



逸品研究会で お店が変わった

新鮮な地魚と地元野菜を使う、旬菜屋NoBu。店長の相原伸美さんは、平塚逸品研究会の創設メンバーです。

「研究会が自分の店を見つめ直すきっかけになりました」と、振り返る相原さん。「壁にたくさん貼っていたメニューを減らし、目に留まりやすくする「効果的なディスプレイを作る」お薦め料理を従業員が詳しく説明できるようにするなど研究会で学んだことを生かし、お客さんにお店をプレゼンテーションしていく方法を工夫するようになったそうです。また、研究会で参考になったことを朝礼で従業員に話し、勉強の成果を店全体で共有していると言います。

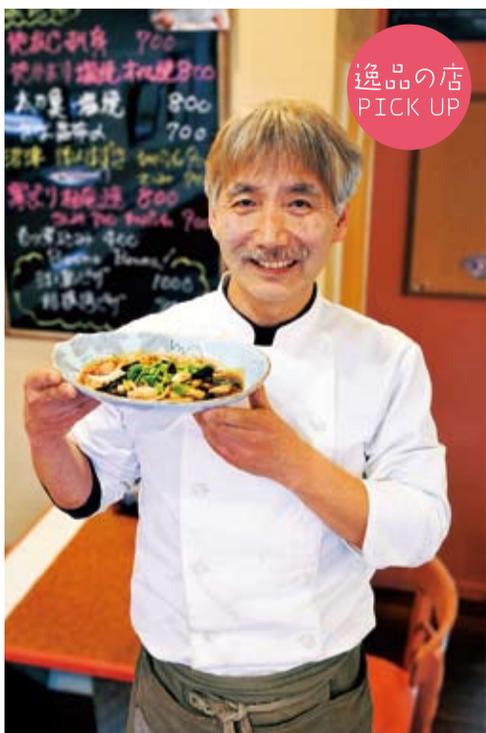


毎日食べたい ヘルシーな一皿

相原さんが提供する逸品は、地魚の新鮮黒酢あんかけです。20回近くの試作を重ねた末にたどり着きました。

使用する魚は日替わりなので、何が使われるかは、その日のお楽しみです。平塚でとれた魚を、市漁業協同組合から直接買入れています。「漁協から直接買っているので、普通では出回らない珍しい魚を使うこともありますよ。平塚の魚の紹介を兼ねながら提供していきたいですね」と、相原さん。

「料理は素材が7割」と相原さん。シンプルな調理法で素材を生かす。まろやかな黒酢あんが新鮮な魚を包み込む。800円。



逸品の店
PICK UP

のうま味が黒酢あんに凝縮され、最後に加えるゴマ油の香りも食欲を刺激します。野菜は平塚市内や平塚近郊で作られたものを使用しています。1日に必要といわれる野菜の量の目安は350gですが、この1食で300gの野菜が取れます。「野菜たっぷり」で、黒酢の血液サラサラ効果も期待できます。ヘルシーな一皿を味わってくださいね。

自転車好き必携 自転車部品の キーホルダー

ポインゴ・サイクル
中堂2-1高橋ビル1階 ☎74-6734



友人に誘われ 研究会に参加

アメリカ発祥の流線型の自転車・ビーチクルーザーを専門に扱うポインゴ・サイクル。店長の宇田恵さんは同級生から誘われ、昨年4月から平塚逸品研究会に参加しています。宇田さんは「いろいろな業種の人から、ざっくばらんな意見を聞けるのがいいですね」と、会の魅力を語ります。同店の逸品は、自転車のチェーンを使ったキーホルダー。手のひらに収まるサイズで、金属の手触りと程よい重さが心地良い一品です。これは元々あった商品ではなく、宇田さんが自分や友人のために手作りしていたもの

フタンプラリー お店を巡ろう

2月1日(金)~28日(木)に平塚逸品研究会の各店を訪れると、抽選で最高1万円分の逸品券(逸品研究会のお店で使える商品券)が当たります。

8店舗を巡ると応募可能。①金賞は5,000円分、6本②逸品賞は1,000円分、40本③30店舗を巡ると完全制覇賞に応募可能。1万円分、3本。

カタログとスタンプラリーの用紙は市商業観光課や商工会議所、逸品研究会の各店で配ります。店舗の一覧は逸品研究会のウェブ<http://s-h-i-p.seesaa.net/>をご覧ください。



迷子になり くい存在感

宇田さんは「まずはお店を知ってもらいたいと思っています。キーホルダーは気軽に買えるので、お客さんが来店するきっかけになればうれいですね」と期待を込めます。商品のポイントは丈夫さと見た目のかわいさ、形の自由

さです。自転車のチェーンが丈夫なのはもちろんのこと、留め具もペットのリードをつなぐのに使われるほど丈夫な物を使用しています。自身も車の鍵などを付けて愛用している宇田さん。「自由自在に曲がるのが面白くて、手持ち無沙汰なときに何となくいい感じになります」と、笑います。存在感があつて迷子になりにくいので、車の鍵や自転車の鍵などを付けてみてはいかがでしょうか。



逸品の店
PICK UP



キーホルダーを持つ宇田さん。色は赤・ピンク・紫・青・緑・黄・白・銀・金の全9色。程よく重く、鍵を付けるのに良いサイズ。グニュグニュと自在に曲がる形状も楽しい。945円。

tvkで
放送

湘南ひらつか 逸品物語



平塚逸品研究会の活動内容を半年にわたって取材した、市の広報番組です。逸品にかけるメンバーの思いや取り組みを、どうぞご覧ください。SCNでの放送日時は6面をご覧ください。2月23日(土)午前9時15分~9時30分 3月10日(日)午前10時15分~10時30分

☎ 広報・情報政策課 ☎21-8761

商業活性化への取り組み

平塚の商業を盛り上げたい

商業観光課 ☎35-8107

市産業振興計画に基づき、市は「商店街にぎわい創出事業」や「商店街等魅力アップ推進事業」などを実施し、商業の活性化に取り組んでいます。湘南ひらつか逸品プロジェクトは、商店街等魅力アップ推進事業の一部です。

また「中心市街地活性化調整協議会」を展開し、市・商工会議所・商店街連合会・中心商店街などが連携して、中心商店街を活性化するための方法を話し合っています。商店街の空き店舗を解消するため、家賃の補助制度なども実施しています。

『店舗コンクール』などを実施しています。今年度の店舗コンクールでは、店作りが高く評価された、見附町の「サトメガネ平塚本店」と、河内の「京くるめ華美濃」の2店が、最優秀賞を受賞しています。

また、経営者の支援策として、店舗経営に役立つパソコンの活用方法を教える「商業経営セミナー」なども行っています。



伊豆市と友好都市に

2月6日に調印式 30年の絆をさらに深める

旧天城トンネル

「市民休養の郷」として30年交流してきた静岡県伊豆市と平塚市が友好の絆を深めるため、2月6日(水)に「友好都市」の提携をします。平塚市中央公民館で行われる調印式には、平塚市から落合克宏市長、伊豆市から菊地豊市長らが出席します。これにより、平塚市の友好都市は岐阜県高山市・岩手県花巻市と合わせ、3市になります。

文化・交流課 ☎25-25220

交流の歴史

昭和57年4月に、平塚市市制50周年記念事業として、伊豆市の前身の一つである天城湯ヶ島町と「市民休養の郷」の提携をしました。

その後、天城山麓に開設された「ひらつか天城山荘」は、平成19年4月に伊豆市に移管されるまで、平塚市民の憩い場として長年、親しまれていました。

湘南ひらつか七夕まつりで

の郷土芸能披露や、平塚市市内駅伝競争大会にも伊豆から参加するなど、住民同士の相互交流も着実に広がってきていました。

平成16年4月1日に、天城湯ヶ島町・修善寺町・中伊豆町・土肥町の4町が合併し、伊豆市が誕生しました。合併後も引き続き、市民休養の郷として、平塚市と交流を続けてきました。

今回、両市の交流30年と平塚市市制80周年を機に、友好

末永いお付き合いを

伊豆市長 菊地豊

このたび、平塚市と友好都市の提携を結ばせていただく運びとなりました。旧天城湯ヶ島町時代からの交流がこのような形で実を結び、大変光栄に思います。

平塚市と伊豆市の交流は、さまざまな市民交流を



含む日常生活の交流になるうかと思

等々、交流の材料を挙げれば際限がありません。末永いお付き合いを、よろしくお願いいたします。

都市の盟約を結ぶこととなりました。

提携事業

友好都市提携記念特別展を今秋に平塚市美術館で計画し

伊豆市の横顔

伊豆市は伊豆半島の中央部に位置しています。東西約25キロ、南北約20キロ、面積363.97平方キロです。地域の8割以上を山林が占めています。平成25年1月1日現在、人口は3万4181人・世帯数は1万3550世帯です。豊かで美しい自然環境に恵まれ、南側は天城山系の山並み、西側は駿河湾に臨んでいます。中央部は、天城山に源を発する狩野川が南北に流れています。

年間平均気温は約15度。温暖な気候に恵まれています。市の花 ワサビ、市の鳥 キジ、市の木 クヌギ



せせらぎが心を潤す滑沢渓谷

温泉のまち

伊豆市は、温泉のまちとして知られています。伊豆最古の温泉といわれる独鈷の湯をはじめ、由緒ある温泉が市内

伊豆市の桜と梅を満喫するツアー
修善寺の梅林や河津桜・南伊豆桜など伊豆の桜と梅を満喫できます。
2月20日(水)～22日(金) 20日午後3時にJR東海函南駅(静岡県函南町)集合。20人(先着順)。2泊3日6食付き。1万6000円。
天城ふるさと広場 ☎0558-87-1050

各地にあります。

修善寺温泉は、弘法大師が独鈷を用いて岩を砕き、お湯が湧き出したという伝説が残る独鈷の湯から発展しました。鎌倉幕府2代将軍源頼家の墓など、古い歴史を感じさせる温泉街です。

このほか、江戸時代の土肥金山開発中に湧き出した土肥温泉、狩野川と猫越川の合流点から豊富に湧き出している湯ヶ島温泉などが有名です。

文学のまち

美しい自然と温泉が散在する伊豆市は、与謝野晶子や若



日本百名湯に選ばれている修善寺温泉。独鈷の湯(中央)が起源といわれる。

伊豆市へ行くって!



平塚市からのアクセス
(鉄道)JR東海道線・伊豆箱根鉄道で約2時間
(車)西湘バイパスなどで約1時間30分

旅の楽しみ特産品

天城山系の溪流に育まれた香り高いワサビや、肉厚の良質なシイタケなど、豊かな自然の恵みが味わえます。

狩野川の清流で育ったアユ、駿河湾の新鮮魚介、幻のピワといわれる、土肥の白ピワなども知られています。

山牧水ら文人歌人に愛されました。

旧天城トンネルは、日本初のノーベル文学賞作家・川端康成の代表作「伊豆の踊子」の舞台です。

自然美あふれる滑沢渓谷は昭和の文豪井上靖の小説「猟銃」の舞台となった場所です。井上は幼少時代を湯ヶ島で過ごしています。



募集

教育委員会の嘱託員

①言語指導1人②スクールソーシャルワーカー1人③中央図書館奉仕(身体障がい者対象)1人。

勤務日数は週5〜3日、月額賃金は18万3100円〜13万4000円の予定です。いずれも職種により異なります。採用予定日は4月1日で、雇用期間は1年。更新する場合もあります。第1次試験は①②が2月23日(土)③が24日(日)。

豊原分庁舎1号館2階の教育総務課☎35-8113にある受験申込書を、本人が直接、2月15日(金)までの平日、午前8時30分〜午後5時に、同課へ。申込書は市ウェブにもあります。

サン・サンスタッフ

市内の小・中学校の図書館で司書教諭を補佐します。2年間の登録制で、4月から必要に応じて採用します。年108日まで、月12日、1日5時間。日給4700円。司書・司書補・司書教諭の

資格がある方(選考)。応募時に、面接試験の日程を設定します。

市販の履歴書を、本人が直接、2月1日(金)〜28日(木)の平日、午前8時30分〜午後5時に、豊原分庁舎1号館1階の教職員課☎35-8116へ。

放課後児童クラブ(学童保育)の指導員

昼間、家に保護者がいない小学校低学年の児童らを対象にした放課後児童クラブ(学童保育)で、指導員を募集しています。詳細は、青少年課にお問い合わせください。

市民活動推進委員

市が進めている市民活動の推進施策について、必要な事項を年数回、調査・審議します。任期は4月1日〜平成27年1月31日。

1人(選考)。次の条件を全て満たす方①市内に1年以上在住の20〜75歳の方で、平日の会議に出席できる②市民活動をしているまたは関心がある

同一団体からの委員は1人に限る③他の付属機関の委員でない。

〒254-0811八重咲町3-3市民活動センター☎21-7534または東附属庁舎2階の協働推進課にある申込書を、郵送または直接、3月1日(金)までに、同センターまたは同課へ。申込書は市ウェブにもあります。

市民活動団体と市の共催講座の企画

市民向けの講座などを市民活動団体と市が共催し、市が講師への謝礼(原則として3万円以内)や会場の確保などを支援します。

市民活動センターに登録されている市民活動団体など。講座は6月〜平成26年3月、原則として市民活動センターで開きます。平成25年4月中旬に市民活動推進委員会を開き、事業を選びます。

市民活動センター☎21-7534などにある「市民向け講座等共催事業企画提案書」を、直接、3月15日(金)までに同センターへ。企画提案書は市ウェブにもあります。

防災標語

防災の大切さを呼び掛けるため、平成25年度の防災標語を考えてください。最優秀に選ばれた作品は災害対策車に掲示したり、懸垂幕に利用したりします。

小学生以下の部、中学生の部、一般(高校生以上)の部。市内在住・在勤・在学の方。一人1点未発表に限る。郵送・ファクスまたは直

菓子展示会

市内和菓子店が展示・即売します。和菓子職人による練り切りなどの実演販売は2月10日(日)・11日(祝)にします。2月7日(木)〜11日(祝)、午前10時〜午後6時30分。市民プラザ。

商業観光課☎35-8107 ◆和菓子教室◆ 9日(土)・10日(日)、午前11時と午後2時30分。各30人(先着順)。電話で、必要事項を弘栄堂☎21-2222へ。



応募方法

問II問い合わせ ☎II応募方法(応募が必要ですが) 必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入ください。

市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所〇〇課で届きます。

募集開始日の記載がない場合、2月4日(月)午前8時30分から受け付けます。

メールの応募の場合④以下にcity.hiratsuka.kana@city.hiratsuka.kana.bawajpを付けてください。

記入例: イベント名、郵便番号、住所、全員の氏名、電話番号、その他の事項



牛乳パックでミニ椅子作り教室

2月15日(金)午後1時〜3時30分。リサイクルプラザ(四之宮7-3-5)。15人(先着順)。牛乳パック・タオル・筆記用具など。200円。リサイクルプラザ☎51-5301

八幡山の洋館音楽会の演奏者を募集

5月18日(土)・19日(日)に開く音楽会で、演奏してみませんか。プロ・アマは問いません。18日はクラシック、19日は自由です。各8組。

〒254-0051豊原町2-21豊原分庁舎1号館3階の社会教育課☎35-8124☎34-5522や旧横浜ゴム平塚製造所記念館にある申込書を、郵

ボランティア博覧会

市内で活動するボランティア団体が活動内容を紹介します。活動体験希望者は各団体に活動体験を応募できます。2月10日(日)午後1時30分〜4時。市民活動センター。

丹沢・湘南口婚活ツアー

①平塚・大磯コース 花菜ガーデンでの調理体験や県立城山公園で茶席体験②秦野・二宮コース 秦野市でそば打

ち体験など。各コースを終えた後、合同で、婚活交流会を大磯プリンスホテル(大磯町国府本郷546)で開きます。2月24日(日)①は平塚駅北口②は秦野駅南口に午前10時、集合。午後6時30分の解散後、両駅に送ります。県内在住の独身者、男女各40人(先着順)。年齢制限はありません。男性8000円・女性6500円。旅行者は神奈中観光(神奈川県知事登録旅行業第2-2号・東京都町田市鶴間1534-1)。

2月4日(月)正午から、NPO湘南ウエディングサポートのウェブhttp://www.shonan-kizuna.com/へ応募できます。詳細は商業観光課☎35-8107へ。

成年後見制度の利用 支援への意見を募集

成年後見制度の推進のため検討会を設置し、「平塚市における成年後見利用支援のあり方」について報告書を作成しました。成年後見人の養成・確保への取り組みや、成年後見利用支援センターの将来像などがあります。報告書は2月4日(月)〜3月5日(火)に、公民館や市のウェブなどで閲覧できます。郵送・ファクス・メールまたは直接、3月5日(火)までに意見・必要事項(メールのタイトルは「パブリックコメントに対する意見」)を、南附属庁舎2階の福祉総務課☎21-8779☎21-9616☎fukushi@へ。市ウェブから提出できます。

知っておきたい 日赤救急法

中央公民館(①②③は福祉会館も)。全て検定試験があります。抽選。

①日赤救急法基礎講習+日赤救急法救急員養成講習

心停止している方に対応できる一次救命処置や手当てなどを学びます。

3月2日(土)正午～午後4時、3日(日)・9日(土)・10日(日)の午前9時30分～午後4時30分、全4回。中学生を除く15歳以上の方16人。3,000円。

②日赤救急法救急員の養成講習

日赤救急法救急員として必要な手当てや搬送、救護の方法を学びます。

3月3日(日)・9日(土)・10日(日)、全3回、午前9時30分～午後4時30分。救急法基礎講習を修了した方12人。1,500円。

③日赤幼児安全法支援員の養成講習

子どもに起こりやすい事故の予防や、病気の看病方法などを学びます。

3月2日(土)・9日(土)・10日(日)、全3回、午前10時～午後4時。中学生を除く15歳以上の方16人。1,500円。

④日赤幼児安全法支援員の資格継続研修

3月3日(日)正午～午後4時。日赤幼児安全法支援員の資格があり、認定の有効期限が1年未満の方12人。1,000円。

⑤日赤救急法救急員の資格継続研修

3月3日(日)正午～午後4時。日赤救急法救急員の資格があり、認定の有効期限が1年未満の方20人。1,000円。

①③ははがきで、講習名と開催日程の初日・必要事項・生年月日を、②④⑤は封書で、講習会と開催日程の初日・必要事項・生年月日と、以前に取得した資格の認定証のコピーを2月15日(金)までに福祉総務課☎21-9862へ。認定証を紛失している場合は、事前に日赤神奈川支部☎045-681-2123で再発行の手続きが必要です。

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

手話を覚えてみませんか



簡単なあいさつや自己紹介を手話でできるようになりませんか。耳が聞こえないことについても、理解を深めます。2月19日～3月26日の火曜日、全5回、午前10時～正午。福祉会館。市内在住・在勤・在学の手話初心者20人(先着順)。筆記用具。☎33-0007へ。

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111
健康課☎55-2111

市民相談

市民相談室

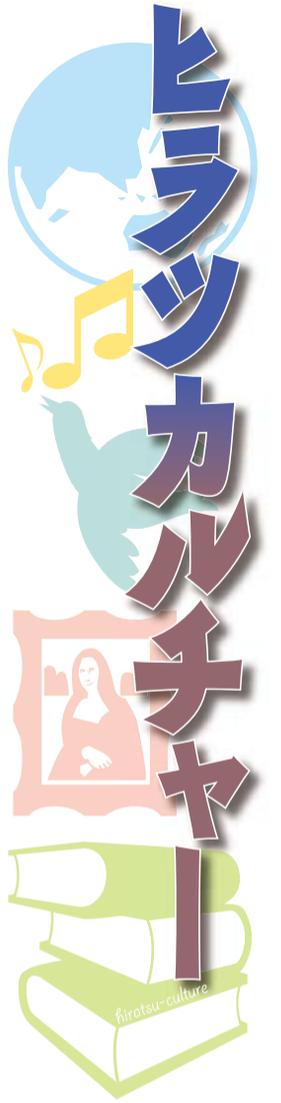
- 市民情報・相談課☎21-8764
- 一般市民 月～金曜日、午前8時30分～正午・午後1時～5時
- 一般法律(予約制) 水・木曜日、午後1時～4時
- 行政 2月4日(月)、3月4日(月)、午後1時～4時
- 多重債務(予約制) 2月12日(火)・26日(火)、午後1時～4時
- 税務(予約制) 2月1日(金)、3月1日(金)、午後1時～4時
- 年金・社会保険・労災 2月12日(火)午後1時～4時
- 登記・供託(予約制) 2月8日(金)午後1時～4時
- 住宅(新・改築) 2月19日(火)午後1時～4時
- 不動産 2月15日(金)午後1時～4時

- 分譲マンション管理 2月25日(月)午後1時～4時
- 許認可各種届け出 2月22日(金)午後1時～4時
- 外国籍 スペイン語：火曜日/ポルトガル語：水曜日/午前9時～正午・午後1時～4時/中国語：第2・4木曜日、午後1時～4時
- 保健福祉総合相談 ☎南附属庁舎1階☎21-8779
- 来所・電話 月～金曜日、午前8時30分～午後5時
- 65歳からの健康相談 ☎高齢福祉課☎21-8778
- 来所(予約制) 2月12日(火)午前9時30分～正午
- 福祉会館 追分1-43☎33-2333
- 法律(予約制) 2月12日(火)、3月12日(火)、午後1時～4時
- 生活支援 月～金曜日、

- 午前8時30分～午後5時
- ボランティア 月～金曜日、午前8時30分～午後5時
- 障がいがある方の相談 ☎障がい福祉課☎21-8774
- 精神保健福祉(予約制) 月～金曜日、午前9時30分～午後4時
- 健康相談 保健センター☎55-2111
- 来所(予約制) 月～金曜日、午前8時30分～午後5時
- 消費生活センター JAビルかながわ☎21-7530
- 来所・電話 月～金曜日、午前9時30分～午後4時
- ビジネス相談 ☎産業振興課☎21-9758
- 発明・考案・特許(第2木曜日までに予約) 2月18日(月)午後1時～4時
- 下請取引 2月19日(火)午後1時30分～4時
- 就労支援(予約制・先着5

- 人・一人50分) 2月27日(水)午後1時～5時50分
- 青少年相談室 市民センター☎34-7311
- 青少年相談 月～土曜日、午前10時～午後6時30分
- ヤングテレホン相談(青少年専用) ☎33-7830 月～土曜日、午前10時～午後6時30分
- ヤングメール相談(青少年専用) y-soudan@. 返信に数日かかります。
- 女性のための相談 ☎人権・男女共同参画課☎21-9611
- 来所・電話 月～金曜日、午前9時30分～午後4時
- 人権相談 ☎人権・男女共同参画課☎23-1111内線2172
- 来所 2月5日(火)・19日(火)、午後1時～4時

- こどもの総合相談 ☎子ども家庭課☎21-9843
- 子ども総合相談 月～金曜日、午前8時30分～午後5時
- 母子相談 月～金曜日、午前9時～午後5時
- 子ども発達支援室くれよん 福祉事業センター ☎32-2738☎31-1114
- こどもの発達相談(来所・予約制) 月～金曜日、午前8時30分～午後5時
- 子育て支援センター 豊田分庁舎☎34-9076
- 未就学児対象の子育て相談・情報提供 月～金曜日、午前9時30分～午後4時
- 子ども教育相談センター 崇善小学校北側☎36-6013
- 来所 月～金曜日、午前10時～午後5時
- 電話 月～金曜日、午前9時～午後5時



美術館

〒254-0073 西八幡1-3-3
☎35-2111 展35-2741
4/12 18 25日

陶芸体験はじまりのうつわ

古代の土器に思いをはせながら、自分にとって大切な物を入れる「うつわ」を作ってみませんか。初心者向けの講座です。

3月10日(日)・24日(日)・30日(土)、全3回、午後1時30分～4時。全日程に参加できる高校生以上の方20人(抽選)・1200円。

☎ はがき・ファクス・メールで、講座名・ワークシヨップ実施日・必要事項・年齢・ファクス番号・メールアドレスを2月21日(木)までに美術館(at:muse@)へ。

■新春の所蔵品展 近世近代の書画 湘南の文人墨客

2月11日(祝)まで。一般200円、高校生・大学生100円。

■ロビー展 保田春彦・湯原和夫のかたち展

4月14日(日)まで。

■新収蔵品展Ⅱ

2月23日(土)～4月7日(日)。一般200円、高校生・大学生100円。

■市民アートギャラリー

2月6日(水)～11日(祝)平塚・大磯・二宮地区中学校美術展。13日(水)～17日(日)くうちよきばあ展。19日(火)～

24日(日)の展。20日(水)～24日(日)心創展。26日(火)～3月3日(日)の。写実写真展、アート21油彩画展。

博物館

〒254-0041 浅間町12-41
☎33-5111 展31-3949
4/12 18 25 28日

博物館文化祭

7テーマを展示。2月11日(祝)まで。特別展示室。

◆実演

①太陽黒点の観察

天体観望会。望遠鏡で太陽を投影して観察します。昼間の星の観察にも挑戦。

2月3日(日)午前10時～正午。屋上。

②空襲体験証言集の朗読会

平塚の空襲と戦災を記録する会。空襲体験の証言集「炎の証言」を朗読します。

2月2日(土)午後1時～3時。展示室1階相模の家。

◆活動報告会

サークルが日頃の活動の成果6件を発表します。

2月3日(日)午後1時～5時。講堂。

■ろばたばなし

民家のいろいろばたで昔話を語ります。

2月17日(日)午後1時20分～3時。展示室1階相模の家。

■寄贈品コーナー やきもの知識

平塚の考古資料を使って、

土器や陶器の特徴や、見どころを紹介いたします。

2月27日(水)まで。1階寄贈品コーナー。

■プラネタリウム投影

200円。18歳未満の方と65歳以上の方は無料。

☆プラネタリウム番組

宇宙のしくみや進化、星々の一生の物語を、CGによってダイナミックに映像化した作品です。

2月2日(土)～5月5日(祝)の土・日曜日と3月27日～4月4日の水・木曜日。午前11時と2時。

■Style-3i プラネタリウムコンサート

2月22日(金)午後2時と午後7時。60人(抽選)。500円(18歳未満の方と65歳以上の方は300円)。

■往復はがきで、参加者全員が必要事項(1枚のはがきで3人まで)・希望する回(どちらか1回のみ)を2月7日(木)までに博物館へ。

■星を見る会 月・木星・冬の星を見よう

2月15日(金)午後7時～8時30分。屋上。集合は1階科学教室。雨天曇天中止。

中央図書館

〒254-0041 浅間町12-41
☎31-0415 展31-9984
4/12 18 25 28日

■ブックスタート

午前10時～11時30分。市内在住の1歳未満のお子さんとその保護者。①2月9日(土)中央図書館②13日(水)南図書館③3月13日(水)金田公民館④17日(日)中央図書館。

■中央図書館こども室で、2月3月の開館日の木曜日、午後1時30分～3時に予約不要のブックスタートを随時実施します。

■中央図書館映画会

3階ホール。日曜日午後2時。2月3日(子ども映画会)なかよし村のケララ、ミッキー・マウスのキャンピングカー、だるまちゃんといこくちゃん(アニメ)。10日(子ども映画会)おきなかぶ、はむこ参る(アニメ)。17日(一般映画会)泥棒と殿様(山本周五郎原作・実写)。

■特別整理休館

各図書館で特別整理のため休館します。

■中央 2月20日(水)～28日(木)。北 2月7日(木)～13日(水)。西 2月28日(木)～3月6日(水)。南 2月14日(木)～20日(水)。

■中央図書館 2月の特集展示 バレンタインデーにちなんで

2月1日(金)～19日(火)。2階貸出室。

文化サークル合同発表会

市民センターの会議室では、音楽、手工芸など約50の文化サークルが活動しています。日頃の活動内容や作品などをご覧ください。

・作品展示の部
25サークルが参加し、書道・絵画・編み物・陶芸など500点余りの力作を展示します。
2月14日(木)～19日(火)、午前10時～午後6時30分(19日は午後3時まで)。市民プラザ。

・公演の部
合唱・マジック・オカリナ・ピアノ・琴など、10サークルが練習の成果を発表します。
2月17日(日)午前10時50分開演。市民センター。

☎ 文化スポーツまちづくり振興財団文化事業課 32-2237

今、会いたい作品

湯原和夫作「作品No.2-05」

皆さんは「彫刻」と聞いて何を思い浮かべるでしょうか。奈良や京都、鎌倉の仏像は信仰の対象として、公園の肖像彫刻は個人の顕彰として、明らかな目的を持って見ることができません。ロダンのフランス近代彫刻は、塊としての量感が追求され、人物の感情まで表現されています。

湯原の作品に戸惑いを感じる人は多いかもしれません。湯原が問い掛けるのは「モノ」の存在自体です。使われているシリコンは工業用で、彫刻の素材としては異質です。むしろ冷たく非人間的なものです。

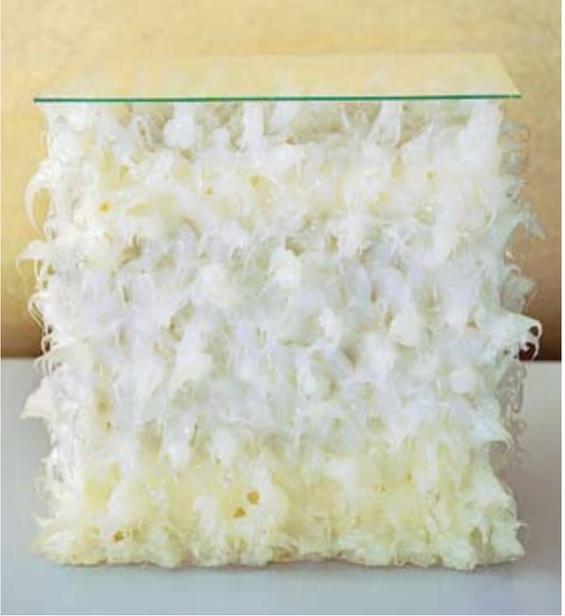
チューブから直接付けた形は偶然の産物です。ただ粘り気の度合いや、付けるという手作業は作家の考え

皆さんは「彫刻」と聞いて、まろで生き物のように垂れ落ちるさまはどこか温かみがあり、エロチックでさえあります。普段じっくりと見ることのないシリコンを使ってこうした造形が作られるのかと、ハッとさせられます。

題名は2005年の第2作目という意味でしょう。作品名が「無題」でも深い意図があることもあります。

「無題」よりもさらに素っ気ない題名からは、見る者が題名からイメージを膨らませることを避け、作品そのものに目を向けさせる意図が感じられます。

この作品は4月14日(日)まで開催する「ロビー展 保田春彦・湯原和夫のかたち展」で展示しています。(文：市美術館学芸員勝山)



2005年 縦24.5センチ×横27センチ×高さ22センチ